



大和中ロータリークラブ会報

REACH OUT.....

手をさし伸べよう.....

R.I. 会長 クレム・レスーフ

第 5 回 例会 1978 年 7 月 27 日 (木)

第11号

出席報告

出席者	出席数	出席率	前日出席
23 名	21 名	95.4 %	100 %
司会者	小菅		

矢野会長テーマ 友情の輪をひろげよう

司会 蜂屋副会長

ゲスト

星 特別代表

ビジター

田中純一郎君(座間), 白石順一郎君, 蒲生秀雄君, 小沢睦君, 小武徹郎君, 曾我敏夫君, 入内嶋和夫君, 道岸唯一君, 河野重康君, 前田俊昭君, 真鍋藤正君 (大和)

会長報告

蜂屋副会長代行

- 矢野会長は横浜市立大学病院での診断の結果、7月31日に入院され、8月初めに手術されるとの事でございます。来月になって日を決めて御見舞に参りたいと思っております。
- 本日当クラブ第一番目の新会員辻国明氏が入会されました。推せん者は北砂会員です。委員会は親睦活動委員会に所属して頂きます。

北砂会員

新入会員の御紹介を致します。辻国明氏は現在コンピューター関係のお仕事をされており、勤務先は東京六本木で、お住いは南林間です。どうぞ

皆様よろしくお願い致します。

辻会員

只今御紹介頂きました辻でございます。素晴らしい会の仲間に入れて頂き大変嬉しく思います。立派なロータリアンを目指して頑張りますので御指導御鞭達の程よろしくお願い致します。

幹事報告

- 本年度半期分の会費が全納されました。御協力ありがとうございました。
- 例会日時、並に例会場の変更がございます。8月24日の例会を8月26日(土)午後6時に変更し、会場は秦野市鶴巻温泉「光鶴園」です。尚詳細につきましては後日御連絡致します。
- 新会員候補者の紹介書をお配りしました。御精読をお願いします。
- ロータリー米山記念奨学会への特別寄附につき

本日のプログラム (8月3日)

「ロータリーについて」 永野清治氏 (大和RC)

次週予定 (8月10日)

「ロータリーの機構」 白石順一郎氏 (大和RC)

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和中央1-5-40
及び 大和市商工会館内
例会場 電話0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日12時30分より
会長 : 矢野久元 副会長 : 蜂屋良平
幹事 : 長谷川清一 会報委員 : 土屋・郡司

まして、前回の理事、役員会において承諾を得ましたので、会員1人千円の御寄附をお願いします。後程幹事が廻りますので御協力の程をお願いします。米山記念奨学会については卓話の時間、大和RC小武直前会長よりお話があります。

委員会報告

ロータリー情報委員会 北砂委員長

- 本日の会報にも載っておりますが、去る7月12、19日姪辺会議を行い、ロータリーあれこれについて懇談し、成功しました事御報告致します。近い将来又この様な会議を開催したいと思えます。

国際奉仕委員会 佐藤委員長

- 7月21日に区分別クラブ世界社会奉仕委員長並に青少年交換委員長（第6、7、8分区）の合同会議が藤沢で行なわれました。地区の役員の方々が出席されましたが、当クラブでは世界社会奉仕委員会がありませんので私が出席しましたが、早急に小委員会を作るようにとの指導がありました。詳しい内容につきましては小冊子をお廻ししますので御覧下さい。
- 青少年交換につきましては、日本から海外へ留学する者については7月20日にメ切り、8月中に試験を行い、9月に決定することになっています。学校関係に応募を依頼したそうです。海外からの留学生受け入れにつきましては、自国で3ヶ月、日本へ来て3ヶ月間日本語の勉強をしておりますので、英語の出来ない家庭が望ましく、留学生自身のためにも良いので、是非受け入れてほしいとの事で、いずれ理事会で検討したいと思えます。国際奉仕委員長として積極的に取り組んでゆきたいと考えております。

親睦活動委員会 猪熊委員長

- 今日次の方々のお祝があります。
御夫人お誕生日 北砂富三君一安子夫人
(7月30日)
佐藤 実君一実子夫人
(8月1日)
創業記念日 長谷川清一君 (8月1日)

卓話

米山記念奨学会について

大和RC 小武徹郎第259地区委員

本日は米山記念奨学会とは何かについてお話ししてみたいと存じます。

ロータリークラブには2つの財団がございます。一つは皆様もよく御存知だと思いますが「ポールハリス財団」(ポールハリスフェロー)で、もう一つは「米山記念奨学会」です。

米山記念奨学会は財団法人であり、日本独自のものです。この米山記念奨学会のことをお話するには、“日本のRCは何時出来たか”ということに触れなければなりません。

1920年、大正9年に三井銀行の米山梅吉氏が米国ダレスに行かれ、そこで初めてRCの例会に出席され、これは素晴らしいという事で資料を日本に持ち帰った。そしてその年大正9年10月20日に東京ロータリークラブを創設されたのであります。この様に米山氏が中心となって創られたクラブですからスポンサークラブというものはありませんでした。(承認されたのは1921年4月1日)又特別代表もありません。初代会長は米山氏が、大正9年、10年と2ヶ年続けました。この米山氏の功績をたたえようという事で、当初東京RCだけで個人、法人を中心に米山財団を創りました。

資金が大分集ったところで1957年日本の各RCにも参加を呼びかけ、1967年、昭和43年に財団法人として登記し今日に至っております。

1923年にRCがポールハリスによって創られた事はロータリアンであれば誰でも知っている事ですが、日本のロータリーの創立当時の事は余り話されておられません。ではこの米山奨学会の目的は一体何であるか?又何故必要な事なのかと申しますと、主にアジア地域の開発途上国からの留学生、つまり東南アジアから私費で来る学生のみを対象として奨学金を出しております。以前はイスラエル、イラク、イラン等の学生も対象としておりましたが、現在は東南アジアが主となっています。

全世界のロータリアンの1/4は開発途上国とい

われる国の人であり、その70%が東南アジアの国々であります。開発途上国がゆえに勉強しなくても出来ない。そこで世界社会奉運動の一助になるべく米山奨学会を利用し留学生を援助しています。

ポールハリスフェローの場合は全世界的なものでありますが、米山奨学会の場合は日本だけの事でありますので、基金の額や使用先もよく分ります。

ここで具体的な事例を御紹介しますと、大和RCで一昨年から昨年にかけて大韓民国のソウル大学を卒業された方で日本の御茶水大学の大学院で勉強されている方を2年間面対を見た事があります。この方は韓国大使館を通じて米山奨学会の援助の要請があり、地区の試験をパスして大和RCがお世話したのですが、留学生は毎月一回例会に必ず出席し、世話クラブの会長から奨学金を受け取ります。このお金は米山奨学会の方から廻って来ます。

留学生の中には反日感情を持って帰るとか、アメリカへ行った方が良いという学生もおりますが、米山奨学会は財政的援助のみで他のことは余り致しませんが、非常に感謝されております。

このように貧しい学生を援助する意味で皆様にも御協力頂ければ幸いです。

今年は10月1日から11月2日まで募集を行います。クラブ単位でも個人でも結構です。大学院以上に限ってこの第259地区で15名程募集致します。皆様の中で推せんされる方々が居られましたら、選考委員会へ書類を廻します。大学院以上でございましたら年令は問いません。但し私費で来られている方に限ります。

以上簡単にお話致しましたが、米山記念奨学会は海外、主に東南アジアから自費で日本に勉強に来られている方の為に毎月資金を援助する目的で創られたのであります。最後にこの奨学会のお世話になり、帰国後立派に働いておられる方からの感謝のお手紙を御紹介したいと思います。

— 東京東RCがお世話した米山奨学生からの礼状を披露されましたが紙面の都合で掲載出来ません事お詫びします — 会報委員

Charter Member's Profile



富沢 S.A.A

例会には誰よりも早く来て会場の整備に当る。クラブ活動の陰の力となって働くのが「S.A.A.」その重要任務につかれた富沢さんに例会前の慌しい中の取材でした。

— RCについて……,

「社会奉仕活動をやっているという程度のことには知っていました。何かお役に立てればと思って入会を決意しました。」

— S.A.A.というお仕事について……,

「余りよく分りませんが与えられた仕事ですからせい一杯やります」

富沢重徳、昭和14年4月生、大和で生まれ育った生粋の“大和児”。横浜国立大学経済学部卒。事務用品販売会社、住宅販売会社等を経て御自分で消毒業、教育事業、鉄骨加工業等の会社を設立するがお弟さん等にゆずり現在は不動産管理業。

— RC 例会について……

「皆さん早く来られ開始までの間お茶でも飲み乍ら和気合々とされたら如何ですか、例会については格調高くやってゆきたいですね」

— RC に望むものは……,

「一日も早く皆が互に知り合い一体感を持つこととそれぞれの分野で委員長さんがリーダーシップをもってばりばり活動出来るようになったら良いと思います。末だ皆さん遠慮があるようですね、早く慣れると良いですね。」

当クラブでは昭和二ヶタ生まれの方が6人居られますが若い方から四番目。中一のお嬢さんを頭に小学校六年、四年の二人の男の子

さんがおありときく。

—ご趣味は……

「麻雀と最近ゴルフを少々……。」

—お酒がお強いようですが……

「昔住宅販売会社に居りました時肝臓を悪くして退職したんですよ。現在は治りましたので又お酒を飲むようになりましたが、洋酒が主です」

一日にボトル半分はあけるといふ富沢さん大きな躰に赤いタスキをかけて今日も例会場で忙しくビジターの方を持成されていました。

(土屋会報委員)

ロータリー情報

語り合いの場としてのロータリー

物ごとにはすべてホンネとタテマエとの二つの顔がある。ホンネは人間本来の自然の顔である。タテマエは対社会ということを意識しての余所行き顔である。

ロータリーにとって綱領だとか四つのテストだとかいうのはタテマエである。この顔を持たねば社会はロータリーの存在を認めてくれないであろう。それに対してロータリーのホンネとは何か。思いやりとか助け合いに生きようとする善意の魂が孤独を感じ、同志との語り合いの場を持ちたいと願う心情がそれである。

戦前、村田省蔵さんが「ロータリーの例会は銭湯だ。一週間の奉仕の疲れとよごれを洗い流すために集って来るのだ」といわれたことがある。

70年前のポールハリス、55年前の米山梅吉、みんなこの心情からスタートしたことを忘れてはならない。

欧米のロータリーにはその底にホンネが確立しているように思う。彼らには伝統的にクラブライフというものがあるからである。ある場合には、むしろホンネに安住しすぎてタテマエをおろそかにする傾向さえある。それにひきかえ戦後の日本ではタテマエばかりが強調されホンネがうすれがちである。何もかもが形骸化し味けない感じがす

るのはそのためであろう。

語り合いの場としてのロータリーを取りもどしたい。心あるロータリアンはそれを願っているのではなかろうか。はたして炉辺会合でホンネが再建できるであろうか。むずかしい問題である。

だが、一応みんなで努力してみたい。このまま放置しては戦前の諸先輩に対し申し訳ない気がする。

(ロータリー情報の広場、東京RC長瀬富郎氏論説より)

スマイルBOX

第6分区代理 富田清次郎様、お車代を頂きましたが、お気持ちだけ頂戴してスマイルBoxへ座間RC 田中会員、初めてお伺い致しました。

どうぞ宜しく……。

大和RC 白石会員、初めて出席させて頂きます。

大和RC 蒲生会員、初めまして、どうぞ宜しく。

大和RC 小沢樹会員、暑中御見舞申し上げます。

大和RC 小武会員、今日は御呼びを戴き恐縮ですが、暑い日に面白くない話になると思いますが、どうか我慢してきて下さい。

大和RC 道岸会員、今日お邪魔を致しまして。

大和RC 河野会員、初めてお伺い致しました。どうぞ宜しく御願い申し上げます。

大和RC 前田会員、仕事のため誠に申し訳ございませんが、早退致しますので……。

長谷川会員、○クラブ会報に立派な似顔絵を掲載いただきました。有難うございました。

○創業記念日祝

北砂会員、夫人誕生日祝

佐藤会員、夫人誕生日祝

「活字のサロン」を活用しよう

会報は「活字のサロン」と言われています。このサロンを活用しましょう。会社の事、御家庭の事、どんな事でも結構です。原稿をお寄せ下さい。読される会報から脱皮する為にも……。

(会報編集部)